

# アート×コミュニケーション

## —対話型鑑賞の持つ魅力—



わたしたちが住んでいる地域には、子ども、お年寄り、男性、女性、外国人、障がいのある人などいろいろな人がいます。他人を理解し、自分を知ってもらうためにはコミュニケーション力が必要です。そこで、アートの持つ内的世界を紐解きながら、人間力を高めたいと思います。

第1回は、「とびらプロジェクト」とびら卒業生のアート・コミュニケーター、越川さくらさんと近藤乃梨子さんのお二人が、対話型鑑賞の魅力と活動を紹介します。現在お二人は、誰もがもつ芸術(アート)という資源(チカラ)を開発し、その新しい可能性を社会に活かすことで、心豊かな社会を目指す活動をしています。ぜひ、ボランティア活動をしている方、子どもと一緒に活動している方、越川さんと近藤さんと一緒にみんなが元気になるヒントを見つけませんか。

### —プログラム—

- 1 「きく力」—コミュニケーションの第1歩
- 2 アートとコミュニケーション①
- 3 対話型鑑賞の事例紹介
  - ・街×アート・コミュニケーター
  - ・体験型インスタレーション作品×アート・コミュニケーター
  - ・高齢者×アート×コミュニケーター
  - ・地域×学校×アート・コミュニケーター 他(順不同)
- 4 アートとコミュニケーション②

#### ◆とびらプロジェクト

東京都美術館と東京藝術大学、そしてとびら(アート・コミュニケーター)が協働して行っているソーシャルデザインプロジェクト。とびらは3年間の任期の中で美術館を拠点に、学芸員や大学の教員らとともに活動。世代や国籍、障害の有無などを問わず、多様な人々に対して、対話を通じた作品との出会いの場を開き、また、自らデザインするワークショップなどを通して、人と人、人とアートをつなぐ活動を行う。

<http://tobira-project.info/about/>



越川さくらさん NPO 法人 芸術資源開発機構 (ARDA)  
アートワークショップ港区ふれあいアートコーディネーター  
近藤乃梨子さん NPO 法人 芸術資源開発機構 (ARDA)  
アーツ×ダイヤログ事務局コーディネーター

日 時：平成30年1月20日(土) 18時~20時

会 場：横浜市開港記念会館(〒231-0005 横浜市中区本町1-6 Tel045-201-0708) 1号室

資料代：500円(当日会場にてお支払いください。学生は無料)

参加者：30名(参加者に年齢の条件はありません。)

申し込み方法：D-YCAPのホームページ <https://www.d-ycap.com/> 「お問い合わせ」メールから、ドロップダウンリストの「WS申し込み」を選択して、入力必須項目に入力してご送信ください。  
学生はメッセージ欄に学生である旨入力してください。

主 催：NPO 法人 D-YCAP(ディワイキャップ) ダイバーシティ・横浜市民アートプランナー

(連絡先：090-3961-1027 藤田 npodycap@gmail.com)

NPO 法人 D-YCAP は、これからの横浜を、そして世界を人間性豊かな生きやすい社会にするために活動しています。その中でも『コミュニケーション』はとても重要だと考えています。価値観の違いを素敵に表しているアート作品。その作品からアーティストの内的世界とコミュニケーションすることで、自分と違った世界を体験します。私たちは、子どもたちとの工作講座や障害者の展覧会を通して、お互いの価値観の違いを知り、人間らしく生きていくことができる『多様性社会』『ダイバーシティ社会』の実現を目指します。